

## 南北問題の学際的研究

勝俣 誠

2009年度のプロジェクトは以下3つの研究活動が中心となった。

1. 外部の研究者を招いての研究討論会を開催した。なお本研究は南北問題を従来の社会科学からのみの接近（国際経済学、国際政治経済学、国際政治学、国際社会学、開発経済学、開発社会学、経済地理学など）でなく、他の学問分野の手法や知見も踏まえて分析、考察することが狙いなので、副題として「現代経済学思想研究」を付け加え、より多くの所員の参加を呼びかけている。

### <研究報告会の開催>

2009年4月24日報告：

「トーマス・アクィナスの金銭思想」（第2回 経済学思想連続研究会）

- 講演者 桑原 光一郎（上智大学大学院生、中世経済思想研究者）
- 日時 2009年4月24日（金） 15:00－18:00
- 場所 明治学院大学横浜校舎 8号館2階 会議室
- 討論者 井上泰夫（名古屋市立大学経済学部教授）  
竹内 啓（本学国際学部名誉教授）  
涌井秀行（本学国際学部教授）  
中野佳裕（早稲田大学現代政治経済研究所特別研究員）
- 司 会 勝俣 誠

2009年6月11日報告：

「新古典派経済学再考 ―ラテン・アメリカと日本の『もうひとつの失われた10年』」  
（第3回 経済学思想連続研究会）

- 講演者 佐野 誠（新潟大学経済学部教授）
- 日時 2009年6月11日（木） 10:00－13:00
- 場所 明治学院大学横浜校舎 8号館2階 会議室
- 討論者 井上泰夫（名古屋市立大学経済学部教授）  
竹内 啓（本学国際学部名誉教授）  
涌井秀行（本学国際学部教授）  
中野佳裕（国際基督教大学社会科学研究所研究員）
- 司 会 勝俣 誠

●佐野誠教授プロフィール

経済学者。博士（経済学）。

1982年、早稲田大学政治経済学部卒業。東北大学大学院経済学研究科博士課程前期・後期、筑波大学大学院歴史人類学研究科（特別研究学生）、外務省専門調査員（在アルゼンチン日本国大使館）などを経て、1998年より新潟大学経済学部教授。2001年、アルゼンチン国立ラ・プラタ大学国際関係研究所招聘教授。

・「もうひとつの失われた10年」を超えて一原点としてのラテン・アメリカ，新評論（2009）

2009年7月16日研究会

「資本主義はいざこへーケインズ経済学の今日性 Quo Vadis？」

（第4回 経済学思想連続研究会）

- 発表者 平井 俊顕（上智大学経済学部教授）
- 日 時 2009年7月16日（木） 13:00-15:00
- 場 所 明治学院大学横浜校舎 8号館2階 会議室
- 討論者 井上 泰夫（名古屋市立大学経済学部教授）  
中野 佳裕（国際基督教大学社会科学研究所研究員）  
ナギザデ・モハマド（本学国際学部教授）
- 司 会 勝俣 誠

●平井俊顕教授プロフィール

1971年東京大学経済学部卒業。1977年東京大学大学院経済学研究科博士課程修了。

上智大学経済学部教授。専攻は経済学史・理論経済学。

- ・『ケインズの理論 —複合的視座からの研究』、東京大学出版会、2003年
- ・『市場社会とはなにか』、SUP 上智大学出版会、2007年
- ・『ケインズとケンブリッジの世界 —市場社会観と経済学と経済学』、ミネルヴァ書房、2008年

2010年3月26日研究会

「エコロジーと現代経済学思想」（第5回 経済学思想連続研究会）

- 発表者 丸山 真人（東京大学大学院・総合文化研究科教授）
- 日 時 2010年3月26日（金） 16:00-18:00
- 場 所 明治学院大学白金キャンパス 本館9階 91会議室
- 討論者 井上泰夫（名古屋市立大学経済学部教授）  
中野佳裕（国際基督教大学社会科学研究所研究員）  
マルクアンバー（レンヌ大学経済学部教授、経済学者ネットワーク PEKEA 元代表）
- 司 会 勝俣 誠

●丸山真人教授プロフィール

1954年、三重県生まれ。東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。

東京大学大学院総合文化研究科教授。

研究分野は人間の経済を生命の生産・再生産という視点から捉え直すための経済人類学、環境経済学、地域経済論などの分野からの理論的、実証的研究。

・ライブラリ関連社会科学 10『グローバル化の行方』、丸山真人・山脇直司編、新世社、2004年7月

・ライブラリ関連社会科学 9『<資本>から人間の経済へ』、丸山真人・内田隆三編、新世社、2004年2月

2. 現地調査

2009年9月10日より21日までベトナムとラオスにおいて「南」の経済・社会の「開発」状況をグローバル化における都市部と農村部の現地調査。

3. 研究発表

2010年3月18日 フランス・パ大学にて CNRS 主催の現代資本主義分析国際シンポジウムにて「Developpement et regulation en Afrique- une esquisse de la taxonomie de l'economie africainje – le cas de l'economie arachidiere du Senegal 1960-2000」を発表。井上および中野共同研究者も発表参加。

※本報告書は、国際学部附属研究所共同研究「南北問題の学際的研究」の中間報告書である。